

申請年月日	平成21年12月9日		使用開始日		
登録診療科	泌尿器科		申請医師		
レジメン名	GC(シスプラチン)(アプレピタントカプセル)				
疾患名	尿路上皮がん		適応の備考		
適応分類	進行・再発、術後補助、術前		適応の備考		
1コース日数	21 日間		総コース数	有効な限り コース 催吐性リスク day1.8:軽度、day2:高度	
抗がん剤投与量・投与日 ゲムシタビン1000mg/m ² day1.8、シスプラチン70mg/m ² day2					
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)					
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	(day)
					1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body		●
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●
2	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●
	点滴静注	ゲムシタビン注	1000 mg / m ²	30 分	●
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●
	点滴静注		/		●
4	主ルート	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	4 時間	●
	点滴静注		/		
5	側管	アロキシ注0.75mg	1 本 / body		●
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●
		デキサート注1.65mg	2 本 / body		●
(シスプラチン注の30分前投与)					
6	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●
	点滴静注	シスプラチン注	70 mg / m ²	2 時間	●
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する					
7	主ルート	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	4 時間	●
	点滴静注		/		
8	経口投与	アプレピタントカプセル	125 mg / body		●
	抗がん剤の投与1時間～1時間30分前に服用				
9	経口投与	アプレピタントカプセル	80 mg / body		● ●
	分1午前中に服用				
10	経口投与	デカドロン錠	8 mg / body		● ● ●
	分2 朝食食後				

- ・アプレピタントカプセル:原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型制吐剤と併用して使用すること。
- ・アプレピタントカプセル:抗悪性腫瘍剤の投与1時間～1時間30分前に投与し、2日目以降は午前中に投与すること。
- ・ゲムシタビン:100mLで希釈し、30分で投与。
- ・シスプラチン:希釈は生食のみ。
- ・シスプラチン:腎毒性軽減のためhydrationが必要。
- ・シスプラチン:適宜、利尿剤を投与